

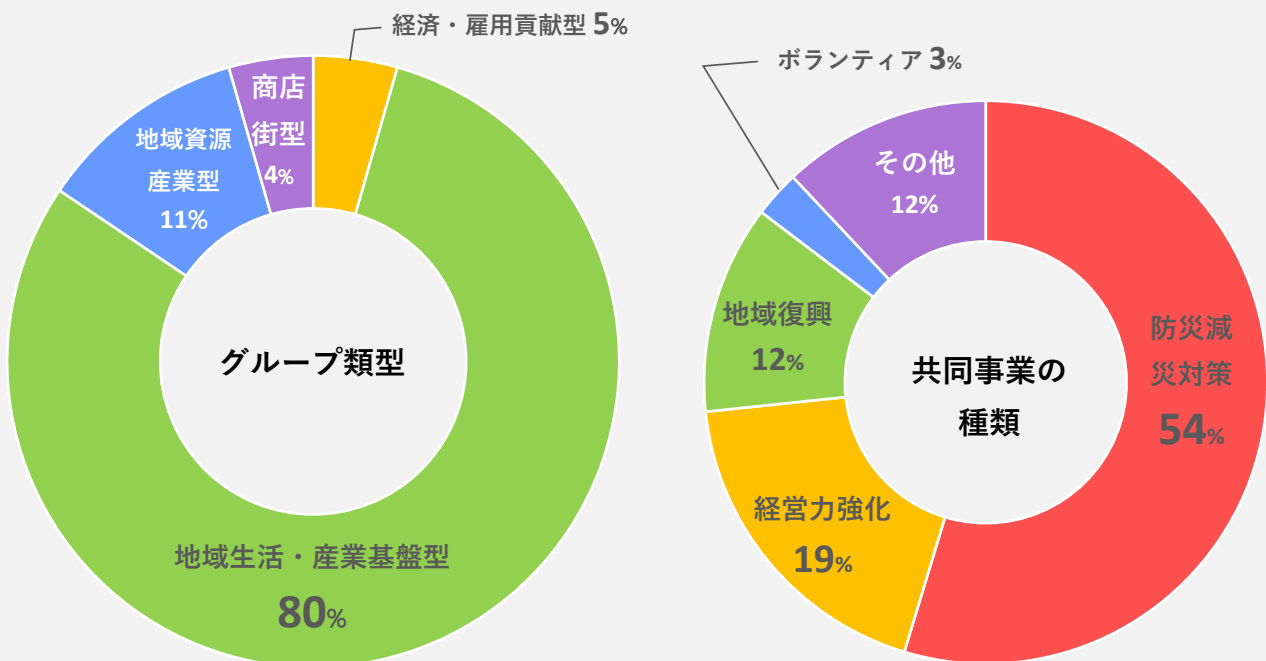
# 令和3年福島県沖地震グループ補助金

## I アンケートの概要

- 実施内容：令和3年福島県沖地震グループ補助金で認定されたグループ（全45グループ）の代表者宛てに、令和5年9月1日時点での共同事業の実施状況調査を行った。45グループ全てから回答があり、その結果についてとりまとめた。
- 目的：共同事業の実施状況とその成果を確認するため。
- 対象者：第1次（令和3年6月）～第4次（令和3年12月）において認定されたグループ（45グループ）

## II グループ類型

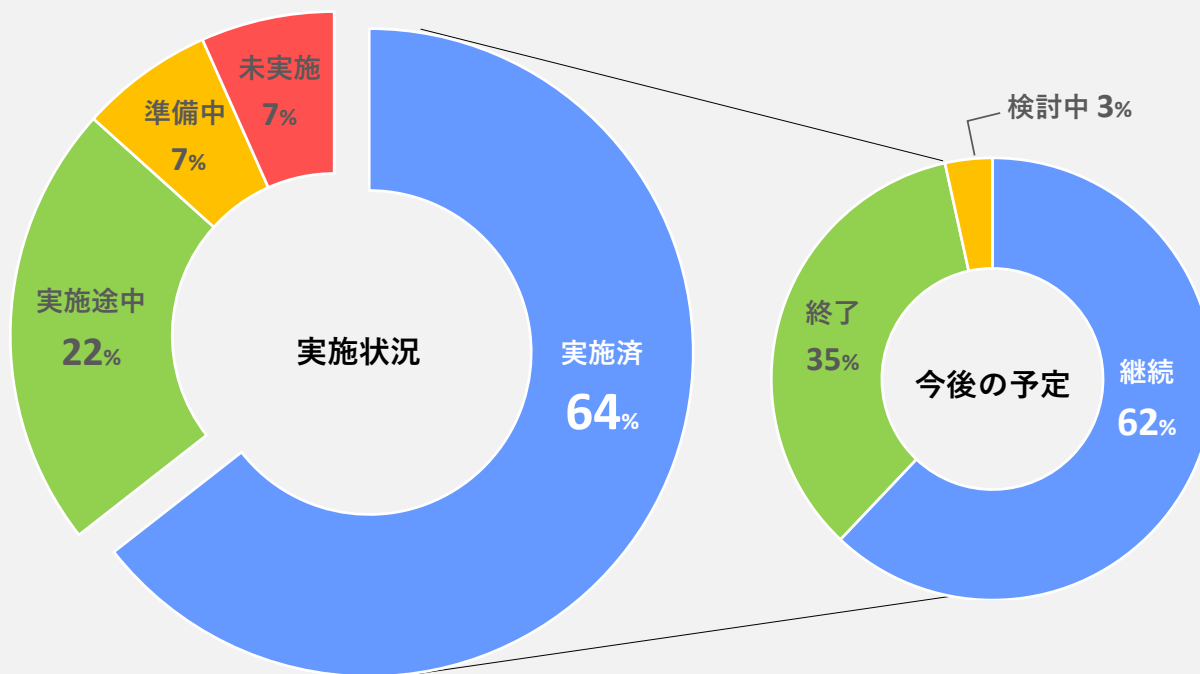
- グループ類型としては、地域生活・産業基盤型が80%と最も多く占めており、地域単位で復旧復興に取り組もうとしている事業者が多い。
- 共同事業の内容としては、防災・減災に関するものが54%、販路拡大や新商品開発等の自社経営力の強化に関するものが19%、イベント等を実施することで地域復興に取り組むものが12%、地域清掃活動等のボランティア活動に取り組むものが3%と続いたほか、その他にも高度医療機器の共同利用に関するものや、事業承継セミナーを開催する共同事業があった。



グループ類型	グループ数	共同事業の内容					合計
		防災減災対策	経営力強化	地域復興	ボランティア	その他	
サプライチェーン型	0	0	0	0	0	0	0
経済・雇用貢献型	2	2	1	1	0	0	4
地域生活・産業基盤型	36	36	10	2	2	9	59
地域資源産業型	5	2	3	4	0	0	9
商店街型	2	1	0	2	0	0	3
合計	45	41	14	9	2	9	75

### III 共同事業の実施状況

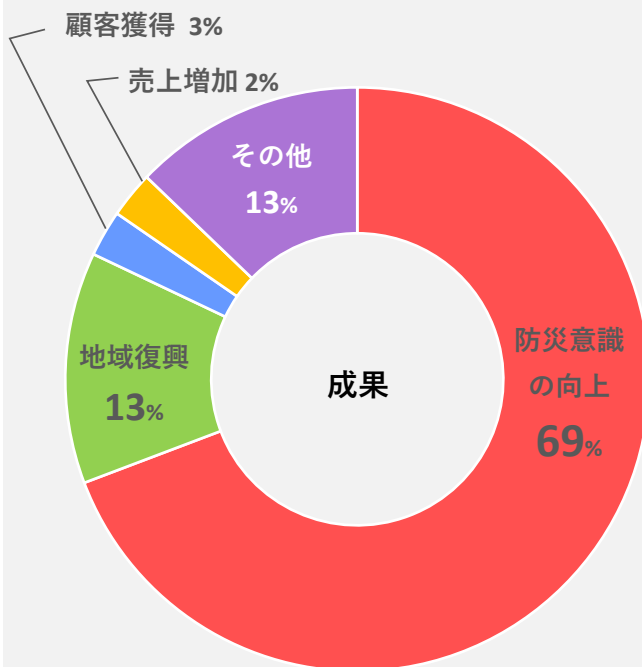
- グループ共同事業は86%が実施（内実施途中22%）、14%が未実施（内準備中7%、未実施7%）との回答があった。
- 実施済の事業者の内、今後の共同事業の実施予定について62%が継続、35%が終了、3%が検討中と回答した。一方終了・検討中と回答したグループのうち、13件については、BCPの策定を実施しているが、全ての構成員が策定を終えておらず事業の継続が必要であることから、引き続き継続的な実施を指導していく。
- またここ数年のコロナ禍の影響により共同事業を実施出来ていないグループが3グループあるが、これらのグループについても共同事業の実施を指導していく。



実施状況	実施済			実施途中	準備中	未実施	合計
	継続	終了	検討中				
サプライチェーン型	0	0	0	0	0	0	0
経済・雇用貢献型	0	2	0	0	0	0	2
地域生活・産業基盤型	14	8	1	9	3	1	36
地域資源産業型	3	0	0	0	0	2	5
商店街型	1	0	0	1	0	0	2
合計	18	10	1	10	3	3	45

## IV 共同事業の成果

●共同事業の実施状況について実施済・実施途中と回答した39事業者の全員が成果があったと回答した。具体的な成果の内容としては、防災意識の向上69%、地域復興13%、顧客獲得3%、売上増加2%となっており、共同事業の成果を確認することが出来た。



### ～成果例～

- セミナーに参加し、BCPの策定を行った（防災意識の向上）
- 市内の消費喚起・地域活性化を目的に、駅前通りでビール祭を実施し、好評を博した（地域復興）
- 温泉むすめのキャラクターを活用した誘客を実施し、これまであまり温泉を訪れることがなかったような新しい顧客層の開拓を行うことが出来た（顧客獲得）
- 共同での催事を行うことで明るさと活力を共同店舗から発信した。合計で3回実施し、通常より来客数10%増、売上12%となった（売上増加）
- 環境問題を考慮した取組として、FSC森林認証についてのセミナーを開催し、構成員含め98名が参加し、環境配慮に向けての意識を高めた（その他）

グループ類型	防災意識の向上	地域復興	顧客獲得	売上増化	その他	合計
サプライチェーン型	0	0	0	0	0	0
経済・雇用貢献型	1	1	0	0	0	2
地域生活・産業基盤型	25	2	0	0	5	32
地域資源産業型	1	1	1	0	0	3
商店街型	0	1	0	1	0	2
合計	27	5	1	1	5	39

## V 総評

●共同事業の内容を5つの基準の4段階で評価を行った。

### 5つの基準

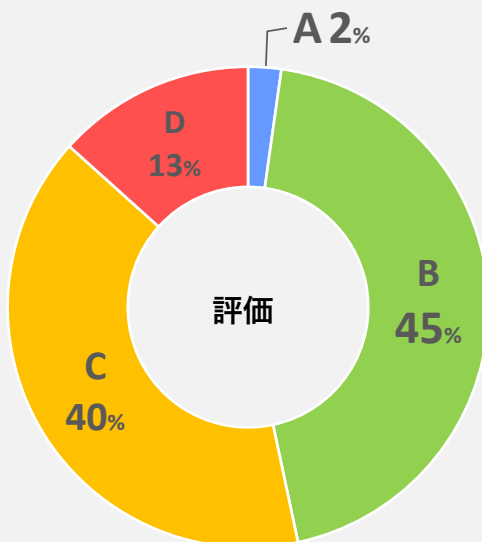
- ①売上回復 (売上増加に繋がった…5点、売上回復出来た…3点、売上回復出来なかった…1点)
- ②影響力 (影響が大きかった…5点、影響があった…3点、影響が小さかった…1点)
- ③実施率 (実施済…5点、実施途中…3点、未実施…1点)
- ④構成員の参加率 (全員実施…5点、一部実施…3点、未実施…1点)
- ⑤事業の新規性 (新規事業…5点、既存事業の延長上…3点、既存事業…1点)

### 4段階の評価

- A…20点以上
- B…15点以上
- C…10点以上
- D…9点以下 or 事業未実施の場合

●評価としては、Aが2%、Bが45%、Cが40%、Dが13%という結果となった。Aと評価したグループは「そなえてあんしん」グループ。分かりやすい防災パンフレットを作成しただけでなく、それを職員・保護者・近隣の銀行・役所・体育館等に合計2,000部配布したことによる影響の大きさという点を評価した。

●共同事業はグループ補助金の申請に必須の取組であるので、今後も継続的に取り組むこと、特に未実施のグループについては、実施するよう指導していく。



グループ類型	評価				合計
	A	B	C	D	
サプライチェーン型	0	0	0	0	0
経済・雇用貢献型	0	2	0	0	2
地域生活・産業基盤型	1	13	18	4	36
地域資源産業型	0	3	0	2	5
商店街型	0	2	0	0	2
合計	1	20	18	6	45